月刊『腎臓内科』投稿規定

＜編集委員長＞
岡田浩一
＜編集委員＞
猪阪善隆　鈴木祐介　中川直樹　中西浩一
西山　成　深水　圭　古市賢吾　丸山彰一
宮崎真理子　柳田素子　横尾　隆　和田　淳
（五十音順）

腎臓内科領域に関する論文を募集します．執筆要項は次の各欄の投稿規定に従って御執筆下さい．

《原著・投稿規定》

1）オリジナルの研究および症例報告を主とし，他誌に掲載されていないものとする．
2）執筆要項は下記の通りとする．
研究　本文・文献は**8,000字以内**　写真・図・表**8個以内**（**組み上がり6頁まで無料**）．
症例　本文・文献は**6,000字以内**　写真・図・表**6個以内**（**組み上がり5頁まで無料**）．
なお，薬剤に関するPharmacology, Pharmacokinetics, Pharmacodynamics, Pharmacotherapeutics, または前臨床試験およびPhase I, Phase II, Phase III, Phase IVの臨床試験成績をまとめた論文は薬理扱いとし，**全頁有料**とする．
3）原稿はパソコンで横書きとし，専門用語以外は当用漢字，現代仮名遣いを用い，句読点は正確に書くこと．また，**印刷原稿とともに**，使用機種およびアプリケーション名，ファイル名を明記した本文テキスト・写真・図・表の**電子ファイルを同封すること**（E-mailによる送付は不可）．
4）表題，著者名，所属は本誌の体裁にならって**和英併記**，また，必ずパソコンで400～600語の**英文抄録を添付し**，5項目以内の**Key Wordsを英語で指定**すること．
5）外国語の固有名詞（人名，地名）は原語のまま用いる．ただし，日本語化しているものはなるべくカタカナとする．商標薬品名，その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが，文中の外国語単語（病名，その他）の頭文字はドイツ語名詞を除きすべて小文字とする．
6）数字は算用数字を用い，度量衡単位はCGS単位で，m, cm, mm, cm^2, l, dl, ml, kg, g, mgなどとする．
7）写真・図・表には必ず**表題**（必要に応じて説明）をつける．また，組織標本には**染色法と倍率**をつける．写真は手札型（縦10.8 cm×横8.25 cm）以上の大きさで鮮明であること．なお，原寸大の製版を必要とする場合はその旨を明記のこと（21 cm×14 cmを限度とする）．図版は原則として白黒とする．カラーでの掲載を希望する場合は**有料**（**1点5～10万円**）とし，トレースを要する図は**トレース料**（**1点5千～1万円**）を申し受ける．**他誌より写真・図版を転載する場合は権利者の許諾を得た上でその旨を明記**する．
8）文献は本文に用いられているもののみをあげ，**引用番号は本文の引用順**とし，本文中の引用箇所には必ず**肩番号**を付すこと．Submitted/in preparationなど，掲載が確定していない論文の引用は原則不可とする．また，文献の書き方は下記のように統一し，原則として表記法は**バンクーバースタイル**に準じ，欧文雑誌の略名は**Index Medicus**に従うこと．
＜雑誌＞著者氏名．題名―副題―．誌名　西暦発行年；巻数：起始頁．
＜書籍＞著者氏名．書名．版数．発行地：発行所名；西暦発行年．引用頁．編集書籍は，邦文の場合は例8），欧文の場合は例10）に従うこと．引用文献の著者氏名，編者氏名は，4名以内の場合は全員を書き，5名以上の場合は3名連記の上，ほか，あるいはet al.とする．文献の表題は副題を含めて**フルタイトル**を記載し，学会発表の抄録を引用する場合は表題の最後に［会］，欧文発表の場合は［abstract］を付すこと．その他，以下の例に従って誤りのないよう記載すること．文献規定が守られていなかったり引用の誤りがある場合は，採用されないことがあるので十分注意すること．
例〔学会抄録〕
1）島本真実子，大野　勲，長町誠嗣，ほか．IgA腎症の予後に及ぼすBMIと代謝性因子の影響［会］．日本腎臓学会誌 2013；55：299．
2）Kugita M, Yoshihara D, Sasaki M, et al. Beneficial effect of combined treatment of two Gi protein activators in PCK rats, an orthologous model of human autosomal recessive polycystic kidney disease［abstract］. J Am Soc Nephrol 2014 ; 772A Suppl. Abstract No. SA-PO594.

〔雑誌〕

3）木野村　賢，杉山　斉，槇野博史，ほか．慢性腎臓病の背景とその概念．循環器内科 2011；69：4.

4）臼井丈一．AAVの腎病変．リウマチ科 2015；54：610.

5）Muskiet MHA, Tonneijck L, Smits MM, et al. GLP-1 and the kidney : from physiology to pharmacology and outcomes in diabetes. Nat Rev Nephrol 2017 ; 13 : 605.

6）Levey AS, Stevens LA, Coresh J. Conceptual model of CKD : applications and implications. Am J Kidney Dis 2009 ; 53（3 Suppl 3）: S4.

〔書籍〕

7）古川哲雄．ヤヌスの顔．東京：科学評論社；1992．p. 161.

8）山内貴雄，山口淳一，森　文章，ほか．日本のReal Worldにおけるシロリムス溶出ステント．相澤忠範・編．第一世代DES（Drug Eluting Stent）の総括．東京：科学評論社；2010．p. 73.

9）Wintrobe MM, Lee GR, Boggs DR, et al. Clinical Hematology. 8th ed. Philadelphia : Lea and Febiger ; 1981. pp. 82-3.

10）Barcos MP, Lukes RJ. Malignant lymphoma of convoluted lymphocytes. A new entity of possible T-cell type. In : Sinks LF, Godden JO, editors. Conflicts in Childhood Cancer. An Evaluation of Current Management. Vol. 4. New York : Alan R. Liss ; 1975. pp. 147-78.

9）投稿される論文の内容に関して利益相反がある場合には，その旨を論文末に明記すること．「日本医学会 COI管理ガイドライン」（https://jams.med.or.jp/guideline/index.html）に準拠する．

10）First authorには掲載誌1部を無料進呈する．別刷を希望する場合は**50部単位で実費作成**するので，著者校正の際に申し込むこと．

11）刷り上がり頁が一定限度（研究6頁，症例5頁）を超える場合は**超過料金（1頁1万円）**を著者負担とする．

12）欧文の原稿は受けつけない．ただし外国人投稿者の場合は必ずしもこの限りでない．

13）投稿論文の採否は編集委員会が行い，不採用論文はコメントをつけてただちに返送し，採用論文の原稿は著者校正の際に同封して返却する．

14）掲載を急ぐ場合は特掲制度を利用すること．

15）原稿は書留郵便で〔〒101-8531 東京都千代田区神田司町2-10-15　**科学評論社『腎臓内科』編集委員会**〕宛に送ること．なお査読の都合上，**原稿のコピー1部を必ず同封**すること（郵便事故に備えて，論文のコピーを手元にも保存されるようすすめる）．投稿は当社WEBサイトからも受け付けている（https://www.kahyo.com/contribution）．

《Brief Clinical Notes・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，研究および症例報告に限る．かつ，他誌に掲載されていないものとする．**Originalityの高い速報もしくは予報的な報告**を目的とする．本欄に掲載された後に，同じ内容の原著は本誌では採択しない．

2）執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**2,800字以内**，写真・図・表は**2個以内（組み上がり3頁まで無料）**．

4）英文抄録は不要．他は同じ．

《総説・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，腎臓内科学上の問題について最近における内外の知見を総説的に記述したものとする．著者の原著報告であってはならない．

2）執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**16,000字以内**，写真・図・表は計**8個以内（組み上がり15頁まで無料，ただし薬剤に関するものは有料）**．

4）英文抄録は不要．8項目以内の**Key Wordsを英語で指定**すること．他は同じ．

《腎臓薬理・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，腎臓疾患の治療薬や検査薬のPharmacology, Toxicology, Pharmacokinetics, Pharmacodynamics, Pharmacotherapeutics, または前臨床試験およびPhase I, Phase II, Phase III, Phase IVの臨床試験成績をまとめた論文とする．

2）執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**20,000字以内**，写真・図・表は**20個以内**．**英文抄録，Key Wordsは《原著・投稿規定》にならって必ず添付**すること．

11）本欄掲載論文に限って**特別掲載扱いかつ全頁有料**とする．

《記録・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，腎臓内科学に関する研究会や検討会・討議会，座談会などの内容を記述したものとする．
2）執筆要項は各主催者の方針に従う．
4）会名は和英併記とし，開催日時，開催場所を必ず記載する．開催後1年以上経過したものは不可．英文抄録，Key Wordsは不要．
11）本欄は**全頁実費掲載**とする．

《原典・古典の紹介・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，腎臓内科学上の古典・原典（疾患，徴候，症候群，検査所見，病理所見，治療法，その他）を紹介し，解説を加えたものとする．
2）執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**6,000字以内**，写真・図・表は計**3個以内（組み上がり5頁まで無料）**．写真・図・表はなるべく**原典・古典そのものから複写したものを用いること**（出典を必ず明記）．
4）英文抄録，Key Wordsは不要．他は同じ．
8）文献の書き方は《原著・投稿規定》に準ずるが，雑誌の場合には，著者（全員）．題名．雑誌　西暦発行年　発行月または月日；巻（号）：起始頁-終頁　のように**完全なもの**とする．

例　1）West WJ. On a peculiar form of infanntile convulsions. Lancet 1841 Feb 13 ; i（991）: 724-5.
　　2）呉　秀三．トムゼン氏病ノ一種．東京医学会雑誌　1892；6（11）：205-14.

《人・土地・業績・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，腎臓内科学上の傑出した内外の人物の伝記やその業績，ゆかりの深い土地，研究所，病院等について読者に紹介することを目的とする．
2）執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**8,000字以内**，写真・図・表は計**10個以内（組み上がり6頁まで無料）**．
4）英文抄録，Key Wordsは不要．他は同じ．

《眼で見る腎臓内科・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，腎臓内科学上の**典型的な写真**（患者の症候，画像，血液像，生化学などの検査所見，剖検所見，組織所見，その他）の提示を主な目的とし，それに**簡単な解説を加えたもの**とする．したがって，原著研究および症例報告の形式はとらないこと．
2）執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**1,600字以内**，写真（原則として白黒写真）は**1～4個（組み上がり3頁まで無料）**．
4）英文抄録，Key Wordsは不要．他は同じ．

《数字で見る腎臓内科・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，腎臓内科学上の種々の統計，頻度などを**数字や％によって表示**することを主な目的とし，それに**簡単な解説を加えたもの**とする．なるべく内外の統計を併記した形式が望ましい．
2）執筆要項は次の通りとする．本文・文献は**3,200字以内**，表は**8個以内（組み上がり4頁まで無料）**．
4）英文抄録，Key Wordsは不要．他は同じ．

《Letters to the Editor・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが，以下の点が異なる．

1）本欄は，日常の診療・研究活動上得られたヒント，思いつき，発見，反省点，誤診しやすい盲点，薬の副作用などや，本誌に掲載された論文に対する各種意見（追加，討議，希望など）を**書簡の形式**（口語体）で書いたものとする．将来，文献として引用価値のあるものを採択する方針である．
2）執筆要項は次の通りとする．本文は**1,200字以内**，写真・図・表の挿入は不可（**組み上がり1頁まで無料**）．
4）表題，投稿者名は本欄の体裁にならって和英併記．英文抄録，Key Wordsは不要．他は同じ．